

明けましておめでとうございます



当館は、昨年もインターネットによる支援募集の【第2弾】をおこないました。今回は図書館の運営費ばかりでなく、映画資料『蒲田週報』の解体・デジタル化の費用も合わせての募集でしたが、貴重な資料を未来に繋ぐ試みに、たくさんの方からご賛同をいただき、目標金額を達成しプロジェクトが成立いたしました。

一昨年の【第1弾】でご支援くださった多くの方からも再び厚い支援を寄せていただき、心強いサポーターを得た思いでした。皆様の応援・ご支援に心より感謝申し上げます。

昨年は専門図書館、私立図書館として、図書館界からも注目され、2年続けて行った支援募集の事例発表を図書館総合展にて行うなど、今までにない活動もいたしました。

この図書館にお寄せいただく期待や信頼を裏切ることなく、出来ることから一步步、より良い図書館となりますよう、職員一同努力してまいります。

今年も当館の活動にご理解・ご協力・ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

松竹大谷図書館 職員一同

≫≫ お知らせ

●第42回 大谷竹次郎賞 決定●

大谷竹次郎賞は、その年の1月から12月に各劇場の公演において、歌舞伎俳優によって演じられた新作歌舞伎および新作歌舞伎舞踊のなかで優れた脚本に贈られる賞です。

平成25年度 第42回大谷竹次郎賞は、下記の通り決定いたしました。

「新作 陰陽師 滝夜叉姫」今井豊茂脚本（平成25年9月歌舞伎座上演）

夢枕獏の幻想小説を題材にし、登場人物それぞれの個性を生かした脚色と演出が評価されました。次代を担う若手が力を合わせた舞台は大きな話題となり、新しい歌舞伎の方向性を示しました。

授賞式は1月27日に行われる予定です。

■ 松竹系 12月 演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『通し狂言 仮名手本忠臣蔵』	○		○	○
	METライブビューイング歌舞伎座開場記念 プレミア上映『ヴェルディ ファルスタッフ』				
新橋演舞場	『三婆』	○	○	○	○
	舟木一夫シアターコンサート i n 新橋演舞場			○	○
南座(京都)	『巖島招檜扇 日招ぎの清盛』	○			
	『仮名手本忠臣蔵 道行旅路の嫁入』				
	『ちいさんばあさん』	○			
	『二人椀久』				
	『義経千本桜 川連法眼館』	○			
	『元禄忠臣蔵 御浜御殿綱豊卿』	○		○	○
	『初代市川猿翁三代目市川段四郎五十回忌追善 二代目市川猿翁 四代目市川猿之助 九代目市 川中車 襲名披露 口上』				
	『黒塚』	○			
『道行雪故郷 新口村』					
	『児雷也』	○			
松竹座(大阪)	関西ジャニーズJr. X'masコンサート2013				

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『 武 士 の 献 立 』	○	○	○		○

■ 映画プログラム ■

- | | | |
|--------------------------------------|---------------------------|-------------------|
| 『ゼロ・グラビティ』 | 『清須会議』 | 『鑑定士と顔のない依頼人』 |
| 『プレーンズ』 | 『カノジョは嘘を愛しすぎてる』 | 『REDリターンズ』 |
| 『かぐや姫の物語』 | 『劇場版 SPEC 結 交ノ篇』 | 『ウォーキングwithダイナソー』 |
| 『47RONIN』 | 『悪の法則』 | 『夢と狂気の王国』 |
| 『マラヴィータ』 | 『サプライズ』 | 『ウォールフラワー』 |
| 『永遠の0』 | 『JUDGE ジャッジ』 | |
| 『オンリー・ラヴァーズ・レフト・アライヴ』 | 『劇場版BAD BOYS J 最後を守るもの』 | |
| 『グリフィン家のウェディングノート』 | 『ルパン三世vs名探偵コナン THE MOVIE』 | |
| 『攻殻機動隊ARISE border:2 Ghost Whispers』 | | |

■ 他社演劇公演資料 ■

あうるすぽっと	1 1 月	木ノ下歌舞伎『東海道四谷怪談 通し上演』プログラム 『曾根崎心中』プログラム、台本
赤坂ACTシアター	1 1 月	『舞台 ぶっせん』プログラム
大阪新歌舞伎座	1 1 月	『五木ひろし特別公演』プログラム
	1 2 月	『舟木一夫特別公演』プログラム、台本
紀伊國屋ホール	1 1 月	劇団俳優座『気骨の判決』プログラム、台本
銀座みゆき館劇場	1 1 月	劇団NLT『喜劇 十字花』台本
国立劇場小劇場	1 1 月	『国立劇場第一四一回舞踊公演 舞の会 京阪の座敷舞』プログラム 『天台宗総本山比叡山延暦寺の声明 慈覚大師御影供』プログラム 前進座『赤ひげ』プログラム
国立劇場大劇場	1 2 月	『主税と右衛門七』『弥作の鎌腹』『忠臣蔵形容画合』プログラム、台本 第十二回伝統歌舞伎保存会研修発表会 プログラム
国立文楽劇場	1 1 月	第一三二回 文楽公演 プログラム、床本
サンシャイン劇場	1 1 月	劇団スーパー・エキセントリック・シアター『スキャンダラス列島』プログラム
シアタークリエ	1 1 月	『ええから加減』プログラム
	1 2 月	『CLUB SEVEN 10th Anniversary』プログラム
自由劇場(四季)	1 1 月	劇団四季『ジーザス・クライスト=スーパースター』プログラム
豊島公会堂	1 1 月	『テラヤマ☆歌舞伎 無頼漢 ならずもの』プログラム、台本
博品館劇場	1 1 月	『さなえ・かんいちの空間』プログラム Yプロジェクト『幕末異聞人斬りの恋』プログラム

■ 演劇雑誌 ■

『あぜくら』平成25年12月号	『ほうおう』2013年11月号, 12月号, 2014年1月号
『Bunkamura magazine』 No. 93, No. 95, No. 96, No. 97, No. 100, No. 101, No. 104	『名古屋芸能文化』平成25年(23号)
『文楽通信かわら版』21号	『日本芸術文化振興会ニュース』平成26年1月号
『舞踊芸術』2013年12月号	『日本照明家協会誌』2013年12月号
『近松研究所紀要』2013年(24号)	『日本舞踊』66巻1月号
『Confetti』2014年JANUARY	『日本演劇興行協会会報』2013年(45号)
『Confettiかわら本』2013年11月号, 2014年1月号	『大向う』平成26年1月号
『伝統文化新聞』2013年(91号)	『ラ・アルプ』2013年12月号, 2014年1月号
『演劇界』2014年1月号, 2月号	『埼玉アーツシアター通信』2013年3月-4月号, 7月-8月号
『げき』2014年1月12号	『シアターガイド』2014年2月号
『悲劇喜劇』2014年1月号	『ステージぴあ』2014年1+2月号
『邦楽の友』平成26年1月号	『テアトロ』2013年12月臨時増刊号(884号)俳優・ タレント養成ガイド2014年度版, 2014年1月号

■ 映画雑誌 ■

『映画時報』2013年7月号, 9月号	『キネマ旬報』2013年12月下旬号, 2014年1月上 旬号, 1月下旬号
『ドラマ』2014年1月号	『ムービータイムス』6892号
『文化通信ジャーナル』2013年7月号, 9月号, 2014 年1月号	『NFCニューズレター』2013年12月-2014年1月号
『映画テレビ技術』2014年1月号	『日経エンタテインメント!』2014年1月号
『映画ビジネス』平成25年8月下旬号, 9月上旬 号, 9月下旬号	『ピクトアップ』2014年2月号
『映画時報』2013年11月号	『SCREEN』2014年2月号
『映画秘宝』2014年2月号	『シナリオ』2014年2月号
『エキブ・ド・シネマ』2013年No. 197	『シナリオ教室』2014年1月号
『FLIX』2014年2月号	『シネビ・エイジ』2013 No. 625, No. 626
	『シネフェックス』2014年No. 31
	『東映キネマ旬報』2013年冬号 Vol. 22

(新規登録資料案内 続き)

■ 書 籍 ■

『市川中車 46歳の新参者』	香川照之 (著)	講談社
『一冊でわかる歌舞伎名作ガイド50選』	鎌倉恵子 (監修)	成美堂出版
『江戸歌舞伎作者の研究 金井三笑から鶴屋南北へ』	光延真哉 (著)	笠間書院
『鷗外の見た風景 東京方眼図を歩く』		文京区立森鷗外記念館
『小津安二郎游』	田中眞澄 (著)	岩波書店
『歌舞伎は恋 山川静夫の芝居話』	山川静夫 (著)	淡光社
『勘三郎 平家女護島 俊寛 三島村歌舞伎写真集』		三島村
『花ひらく少女歌劇の世界 展示資料解説』		国立国会図書館関西館
『女優者という存在とその歴史的位置づけ 中村歌扇の芸歴を通して』	土田牧子 (著)	東京藝術大学
『東京ロケ地マップ ドラマ、映画のロケ地をめぐる！』		東京観光情報センター
『落語のラジオドラマ化 その実践と方法』	松本尚久 (著)	明星大学
『戦地に舞う慰問舞踊 戦時下の兵士がみた女性舞踊家たち』	後藤康行 (著)	専修大学

資料をご寄贈くださった方々 (敬称略・順不同/2013年10月~11月)

※許可を得た方のみ掲載しております

松竹株式会社、松竹ブロードキャスティング株式会社、博物館明治村、OSK日本歌劇団、新歌舞伎座、邦楽の友社、日本映画テレビ技術協会、劇団四季、シナリオ・センター、国立劇場、明治学院大学、一般社団法人日本民間放送連盟、銀座百店会、劇団青年座、おもだか会、株式会社日本舞踊社、(株)マルヨンプロダクション「シナリオ」編集部、演劇出版社、無声映画鑑賞会、舞踊芸術社、明治座、独立行政法人日本芸術文化振興会国立文楽劇場、安孫子正、関西・歌舞伎を愛する会、文学座、キネマ旬報社、日本映画テレビプロデューサー協会、四季株式会社、シアタークリエ、帝国劇場、劇団俳優座、日本芸能実演家団体協議会 実演家著作隣接権センター、歌舞伎学会、東京都江戸東京博物館、東京大学出版会、博多座、こまつ座、村島彩加、日本劇団協議会、俳優座劇場、松岡亮、人形劇団プーク、株式会社カモミール社テアトロ編集部、ロングランプランニング株式会社、伝統文化新聞、公益社団法人日本照明家協会、早稲田大学演劇博物館、市川市文学ミュージアム、中央区郷土天文館 (タイムドーム明石)、ディアゴスティーニ・ジャパン、尾上松之助遺品保存会、三代目花柳寿楽、(株)近代映画社、岡崎哲也、ゴーチ・ブラザーズ、フィルムセンター、宮本明子、最上敏信、岩波ホール、テアトル・エコー、劇団鳥獣戯画 知念正文、阪急文化財団、劇団民藝、増田栄二郎、流山児★事務所、株式会社東急文化村、鈴木彩、東宝株式会社、劇団銅鑼、前進座、新宿梁山泊、滋賀県文化振興事業団、御園座、国文学研究資料館、劇団若獅子、公益財団法人劇場演出空間技術協会、ファーンウッド、二兎社、独立行政法人国際交流基金、日本近代文学館、財団法人現代演劇協会、株式会社アサツー・ディー・ケイ、愛知県文化振興事業団、劇団ワンツーワークス、(有)アゴラ企画、劇団NL T、名取事務所、羽淵三良、黒澤明研究会、集英社クリエイティブ、映画論叢、日本映画撮影監督協会、岩波書店、銀座 博品館劇場、音楽座ミュージカル、日本芸術文化振興会

どうもありがとうございました

第40回松竹大谷図書館所蔵資料展示

「山田洋次監督」展 第三弾

～『男はつらいよ』より『男はつらいよ 寅次郎恋歌』まで～

展示期間：2014年1月9日～2014年1月29日／於 閲覧室



2014年1月25日に待望の新作『小さいうち』が公開となる山田洋次監督の資料をご紹介します。第27回展示（2012年11月）「山田洋次監督展 第二弾」以来1年2か月ぶりの第三弾の展示は、第1作『男はつらいよ』（1969年）より第8作『男はつらいよ 寅次郎恋歌』（1971年）までの7作品です。TVドラマのヒットにより誕生した映画『男はつらいよ』（1969年）、日本を縦断する一家をみつめた山田監督の代表作でもある『家族』など、山田監督の喜劇スタイルや庶民に寄り添う姿勢が感じられる作品がそろっています。また、現在東京国立近代美術館フィルムセンターで「映画監督 山田洋次」と題して1月22日まで山田監督作品の特集上映が行われております。上映期間もあとわずかです。これから観られる作品も限られてはいますが、ご興味ある方は是非京橋のフィルムセンターへお出かけください。

●展示資料作品一覧●

『男はつらいよ』（第1作）（1969年公開） ●スチール、カラースチール

原作・脚本・監督：山田洋次、脚本：森崎東、主な出演：渥美清、倍賞千恵子、光本幸子

日本を代表する長寿シリーズの記念すべき第1作。当初TVシリーズとしてフジテレビで放送され、渥美清演じる主人公の「寅さん」がハブに咬まれて死ぬ結末に視聴者から抗議が殺到。この人気の高さから映画版が製作された。

『続・男はつらいよ』（第2作）（1969年公開） ●スチール、カラースチール

原作・脚本・監督：山田洋次、脚本：小林俊一、宮崎晃、主な出演：渥美清、倍賞千恵子、佐藤オリエ

TVドラマ版にも登場した寅次郎の恩師、坪内散歩先生（東野英治郎）とその娘で寅次郎の幼馴染でもある夏子（佐藤オリエ）とのストーリーを中心に、寅次郎が産みの母を訪ねるエピソードも挿入されている。連れ込み宿を営む母親をミヤコ蝶々が個性強く演じている。『醜の母』のパロディともいえる作品。

『男はつらいよ 望郷篇』（第5作）（1970年公開） ●台本、スチール

原作・脚本・監督：山田洋次、脚本：宮崎晃、主な出演：渥美清、倍賞千恵子、長山藍子

第3作『フーテンの寅』は森崎東、第4作『新・男はつらいよ』は小林俊一が監督し、第5作目の『望郷篇』で再び山田洋次がメガホンを取り、以後最終作まで監督をしている。TVシリーズでさくら役を演じた長山藍子がマドンナとして出演している。

『家族』（1970年公開） ●プログラム、シナリオ、スチール

原作・脚本・監督：山田洋次、脚本：宮崎晃、主な出演：倍賞千恵子、井川比佐志

九州から北海道まで実際に日本列島を3000km縦断しながら約1年かけてロケを行った作品。酪農生活を夢見て長崎の伊王島からはるか遠くの北海道へ向かう一家の道程を描いている。1970年キネマ旬報ベスト・テン1位ほか多数の映画賞を受賞した。

『男はつらいよ 純情篇』（第6作）（1971年公開） ●プログラム

原作・脚本・監督：山田洋次、脚本：宮崎晃、主な出演：渥美清、倍賞千恵子、若尾文子

寅次郎が旅先で助け、実家へ送り届けた家出妻（宮本信子）と、夫と別居して「とらや」で住み込みで働く家出妻（若尾文子）。ふたりの家出妻の話に、さくらの夫の博の印刷工場からの独立話も絡められ、「自立」がテーマとして描かれた第6作。

『男はつらいよ 奮闘篇』（第7作）（1971年公開） ●台本(第1稿)、スチール

原作・脚本・監督：山田洋次、脚本：朝間義隆、主な出演：渥美清、倍賞千恵子、榎原るみ

当時最も若いマドンナとして榎原るみが少し頭の弱い津軽娘の役で出演し、寅次郎がプロポーズをする第7作。ミヤコ蝶々演じる寅次郎の母親が再び出演して結婚をテーマにストーリーが展開する。

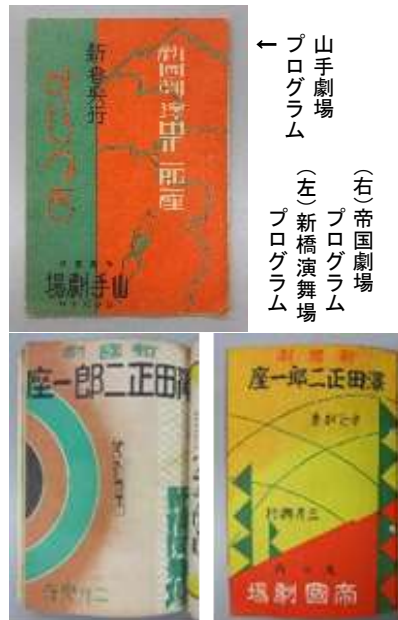
『男はつらいよ 寅次郎恋歌』（第8作）（1971年公開） ●プログラム

原作・脚本・監督：山田洋次、脚本：朝間義隆、主な出演：渥美清、倍賞千恵子、池内淳子

第8作目は柴又で喫茶店を始めた子連れ未亡人に、寅次郎が片思いをする。三人での生活を夢見ながらも、その夢を打ち明けることなく再び柴又を去って行くまでの寅次郎の姿が切なくも可笑しく描かれている。

● 所蔵資料紹介「昭和4年1月山手劇場プログラム」

前号でご紹介した、第39回展示「芝居における忠臣蔵」で取り上げた新国劇澤田正二郎一座の『赤穂浪士 中篇』資料。この作品は、昭和4年1月から3月まで、『前篇』・『中篇』・『後篇』と三カ月に渡り、山手劇場、新橋演舞場、帝国劇場と、それぞれ別の劇場で上演されました。このうち当館は2月の新橋演舞場（『中篇』）、3月の帝国劇場（『後篇』）のプログラムしか所蔵していませんでしたが、このたび『前篇』が上演された昭和4年1月山手劇場のプログラムを、以前大量寄贈された演劇プログラムの中から新たに整理しました。これで昭和4年3月4日に36歳で早世した新国劇の名優澤田正二郎の、最後の出演作のプログラムが揃ったこととなります。また、昭和4年1月は山手劇場が四谷の大国座より改名した月であり、プログラムの中には「山手劇場改築披露」と記されています。『赤穂浪士 前篇』は同時上演の『国定忠治』とともに、柿落しの記念すべき演目であるといえます。山手劇場のはじまりを知ることでできる貴重な資料です。



山手劇場プログラム
（左）新橋演舞場プログラム
（右）帝国劇場プログラム

■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2013（平成25）年12月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

- 株式会社歌舞伎座
- 歌舞伎座サービス株式会社
- 歌舞伎座舞台株式会社
- 松竹株式会社
- 松竹衣裳株式会社
- 株式会社松竹映像センター

- 松竹音楽出版株式会社
- 松竹芸能株式会社
- 株式会社松竹サービスネットワーク
- 松竹ブロードキャスティング株式会社
- 株式会社松竹マルチプレックスシアターズ
- 公益財団法人 昭和池田記念財団

個人（50音順・敬称略）

- 岡田道哉
- 大竹良一
- 塩川正十郎
- 松本行央

どうもありがとうございます



- 利用案内 ●
- 開館時間 ●
- 平日午前10時～午後5時
- 休館日 ●
- 土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期夏期特別整理期間
- ※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびWebサイトに掲示します。
- 入館料 ●
- 無料 館内閲覧のみ
- 交通案内 ●
- 東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分
- 東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分